

平成28年度 第1回紋別市総合教育会議 次第

日時 平成28年10月26日(水)

15時から

場所 市役所 市長応接室

1 開会

2 協議事項

(1) 魅力ある高校づくりについて

3 その他

4 閉会

平成28年度 第1回紋別市総合教育会議 出席者名簿

構成員	
紋別市長	宮川 良一
紋別市教育委員会委員長	小林 正男
紋別市教育委員会委員長 職務代理者	上林 善證
紋別市教育委員会委員	喜多 俊晴
紋別市教育委員会委員	木山 順子
紋別市教育委員会教育長	齋藤 房生
構成員以外の出席者	
総合戦略推進室長	徳正 修一
総合戦略推進室参事（総括担当）	富樫 豪志
事務局（教育委員会事務局）	
教育部長	尾形 勝己
学務課長	小林 昌史
生涯学習課長	相澤 秀雄
博物館長兼図書館長	志子田 悟
スポーツ振興課長	大平 一也
学務課庶務係	中山 広勝

紋別市から北海道紋別高等学校に対する支援について

紋別市では、人口急減・超高齢化を克服し、活力ある地域社会の創出を目指し、「紋別市総合戦略」を策定しました。その中の基本目標の一つに「本市の魅力向上と発信強化による新たな人の流れの創出」を掲げ、「個性を磨き、可能性を育む小・中学校づくり」、「魅力ある高校づくり」などの教育環境整備の推進を明示しております。

このような取り組み実現に向け、現在、来年4月からの紋別高校通学生支援を次のように予定していますので、紹介させていただきます。

(いずれの実施も平成29年4月1日からを予定しております)

1 学力向上支援事業

- ・ ネット配信によるオン・デマンド受講経費助成(高校 PC 教室での受講)
- ・ 英語教育充実のため e ラーニング受講経費助成
- ・ 模擬試験受験料 1/2 補助
- ・ 各種資格取得受験料経費の一部補助
(英語検定、簿記検定、情報処理検定、危険物取扱者(乙種・丙種)など)

2 部活動支援事業

- ・ 全道、全国大会参加に係る経費等の一部補助
- ・ 練習時における市内体育施設、文化施設の使用料免除

3 生活支援事業

- ・ 下宿等家賃補助(紋別市外からの通学者対象)
(※下宿代等の 1/2 を補助、補助額の上限額設定有り)
- ・ バス通学経費補助(紋別市外からの通学者対象、市民の方には既存補助制度有り)
(※バス定期代の 1/2 を補助、補助額の上限額設定有り)

○補助につきましては、今後、申請方法や補助対象者等の詳細を決定いたします

紋別高校支援担当
紋別市教育委員会学務課

紋別高等学校活性化支援事業(案)一覧

教育委員会事務局整理

(1) 学力向上支援事業

事業名	1 補習ネットゼミ	2 模試受験料助成	3 資格取得活動支援	4 未来塾開催事業
対象者	生徒	生徒・学校	生徒	生徒
概要	①ネット配信(パソコンにて受講)によるオン・デマンド受講経費助成 ②英語教育充実のためeラーニングへの支援	長期休業中補習およびゼンター模試等経費への助成 模試受験料	各種資格取得受験料の経費の一部補助 (英検、数検、漢検、商業科、工業科)	高校の職業人による座談会で1講座講師として派遣 (弁護士、医師等)
条件	①成績上位者 ②普通科生徒	模試受験料1/2補助	受講料1/2補助	
始期	H29.4	H29.4	H29.4	H28年度着手済

(2) 部活動支援事業

事業名	1 指導者派遣支援	2 遠征費補助	3 施設利用料免除	
対象者	部活動生徒	生徒	生徒	
概要	部活動等への外部指導者配置支援 ①野球部 ②サッカー部 ③吹奏楽部	大会参加に係る経費等の助成	文化施設、体育施設等の部活動利用における利用料免除 ※小中部活動との調整あり	
条件		①全道5千円 ②全国10千円	練習及び本番	
総量	①元日ハム選手派遣 ②H29予定 ③音楽セミナー講師派遣	①242人 ②2人	スポーツセンター週1回 市民会館8回 紋別球場	
始期	H28年度着手済 H29拡充	H29.4	H29.4	

(3) 生活支援事業

事業名	1 家賃対策補助	2 バス通学経費助成	3 奨学金給付制度(調整中)	
対象者	入居者(保護者)	保護者	生徒	
概要	自宅以外生徒の住居負担の軽減を図る	遠距離自宅通学者の交通費負担を軽減する	市内就職者への奨学金返済免除	
条件	・下宿代・寮費の1/2を補助(補助額の上限3万円まで) ・光熱水費を含まない	・バス定期代の1/2を補助(補助額の上限1.5万円まで)	紋別高校を卒業し(大学卒業後)市内で就職した者 ※市内就職期間等検討課題	
総量	20戸以内	約70人	奨学金貸与の全額	
始期	H29.4	H29.4	未定 国が給付型制度検討中	

紋別高等学校活性化支援事業

【背景・社会情勢】

- 1) 人口急減・超高齢化を克服し、活力ある地域社会の創出を目指し、「紋別市総合戦略」を策定。
基本目標の一つに「本市の魅力向上と発信強化による新たな人の流れの創出」を掲げ、「個性を磨き、可能性を育む小・中学校づくり」、「魅力ある高校づくり」などの教育環境整備の推進を明示。
- 2) 高等学校は、中学校教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする(学校教育法)。「高校教育の質の確保・向上に向けて(中教審高等学校教育部会)H26.6」において、中学校を卒業した生徒のほぼ全ての者が進学する中、高等学校は、社会で生きていくために必要となる力を共通して身に付けるとともに、自立に向けた準備期間を提供することのできる最後の教育機関として、生徒一人一人の学習意欲を高めることが極めて重要と指摘。高校教育の質の確保・向上を目指すため、①社会で生きていくために必要となる力や社会の発展に貢献し得る力を共通して身に付ける「共通性の確保」を図るとともに、②生徒の卒業後の進路が多様になっていることや各学科において抱える課題が一樣でない実態を踏まえ、「多様化への対応」も併せて進める必要があるとしている。

【関連計画等の位置付け】

- ・市教育大綱 基本方針1 分野4 高等学校教育等 ・市生涯学習推進計画 第2章 4 高等学校教育等(p26)
- ・過疎地域自立促進計画 7 教育の振興 エ 高等学校教育等(p47,49)

【実績】

- ・奨学金貸与事業
- ・野球部指導者派遣事業
- ・高校生ボラ学習サポート

【課題】

- ・紋別高校の定員数200名(1学年5学級編成)に対し、市内中学校のH28.3月卒業生は189名、H30年157名、H32年140名と推計され、高校間口削減のおそれがある
- ・地元中学からの進学率確保及び西学区内からの紋別高校進学誘導施策を展開する必要がある

◆解決手法の選択

～高校の魅力高め、生徒に選ばれる高校づくりのために～

- ①キャリア教育充実と進学実績向上
- ②各部活動大会出場実績の向上
- ③市外通学者数の確保

◆事業間の順序

- ・高校の優先要望事項を中核とする
- ・支援メニューをパッケージ化して一括提供することにより政策効果を高める

◆いつ実施するか

H29.4月から実施し、H28年度中に行われる学校説明会開催、生徒募集案内に公表

【この事業の目的】

- ①キャリア形成と進路指導の充実②部活動の充実③通学支援制度の充実に向けた支援施策を一体的に推進し、生徒に選ばれる「魅力ある高校づくり」を実現する。

【ねらい】

「魅力ある高校づくり」により高校進学者の学区外流出を抑制するとともに、高校生地元出身者の市内定着の意識づくりなど、将来的な本市への呼び戻し、人口減少の抑制につなげる

【この事業の具体的内容と効果】

- ①対象 生徒(保護者)個人
- ②手段 原則として、教育課程において生徒が負担する経費に対し、1/2以下の助成を行う
- ③意図 生徒は、進路指導・就職指導、部活動の充実が図られ、有意義な学校生活を送ることができる
学校は、未来社会の創造者の一員として活躍できる人材の養成、多様な才能の発掘と知識・学力に偏らない人格形成育成の一層の推進が図られる
- ④結果 生徒に選ばれる魅力ある学校づくりによって、市内外からの生徒が入学し、定数200名を維持する

【設定する指標】※未調整

- ①定数カバー率(H28:79%⇒H32:95%) <158/200⇒190/200>
- ②地元進学率(H28:69%⇒H32:90%) <131/189⇒126/140>
- ③市外進学者率(H28:17%⇒H32:34%) <27/158⇒64/190>
- ④全国大会出場回数(4回)
- ⑤国公立大学進学者数(H26:21名⇒H31:40名)
(※合格率換算H26:21名/41名=51%⇒H31:40名/50名=80%)
- ⑥高校生ボラの小中学校講習参加(H27:延60名⇒H31:延200名)

【事業実施にあたり整理すべき留意点・投入すべき資源量】

- モノ～市外通学生向け下宿・学生寮の確保(計20戸)
- カネ～ソフト事業である「過疎地域自立促進特別事業」としての事業展開を検討すること
- 情報～学校アンケートの分析(生徒・保護者含む)生徒需要の予測、市内供給戸数の把握
- 外部要因～①小中学校体育文化振興補助金、②スポーツ振興補助金(少年団)、③公共交通確保基金による通学定期券購入費補助金、④北海道公立高校生等奨学給付金制度、⑤高等学校生徒遠距離通学費等補助事業との整合を図ること

紋別高校への通学等に関するアンケート集計結果

学務課作成

1 学科・学級数・在籍生徒数(H28.5.1現在)

学科	普通 (9学級)	電子機械 (3学級)	総合ビジネス (3学級)	計 (15学級)
1年生	97	32	29	158
2年生	88	31	26	145
3年生	118	32	30	180
合計	303	95	85	483

2 出身中学校

中学校名		男	女	計
市内	紋別	124	89	213
	潮見	87	70	157
	渚滑	13	10	23
	上渚滑	8	5	13
市外	興部	15	7	22
	沙留	11	7	18
	雄武	5	3	8
	滝上	17	7	24
	西興部	3	2	5
計		283	200	483

※参考(紋高前まで)

バス定期代(1ヶ月約)	
渚滑	16,920円
上渚滑	25,200円
興部	29,880円
雄武	35,400円
滝上	33,000円

3 生活状況

自宅	480
下宿	1
アパート・マンション(1人暮らし)	1
その他(親族・親類宅)	1
計	483

4 居住地域

市内	354	
郊外	57	渚滑・上渚滑・元紋別・藻別
市外	69	沙留・興部・雄武・滝上・西興部
その他	3	下宿・アパート・マンション(1人暮らし)・その他
計	483	

5 紋別高校への通学等に関するアンケートを上記、4居住地域の市外、その他の計72名(保護者)に に対し実施、49名(保護者)より回答済(回答率68%)

	1年生		2年生		3年生		小計		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女		
1学生寮を利用したい	2		1		1		4	0	4	
居住地 内訳 (再掲)	興部						0	0	0	
	雄武	2					2	0	2	
	滝上			1		1	2	0	2	
	西興部						0	0	0	
2寮費等の詳細(予定) があれば検討したい	3	5	2	2	1	1	6	8	14	
居住地 内訳 (再掲)	興部		2	2	1	1	3	4	7	
	雄武	1			1		1	1	2	
	滝上	2	2				2	2	4	
	西興部		1				0	1	1	
3現在、自宅から通学で きているので必要ない	3	1	4	5	8	1	15	7	22	
居住地 内訳 (再掲)	興部	3		2	3	4	1	9	4	13
	雄武							0	0	0
	滝上		1	2	2	4		6	3	9
	西興部							0	0	0
4経済的な負担が大き くなるので利用しない	1		3	2	2		6	2	8	
5その他	1						1	0	1	
合計	10	6	10	9	12	2	32	17	49	

生徒の状況

1 学科・学級数・在籍生徒数

大学科	商業	工業	普通	計
小学科	総合 ビジネス (3学級)	電子機械 (3学級)	普通 (9学級)	
1年	29	32	97	158
2年	26	31	88	145
3年	30	32	118	180
合計	85	95	303	483

2 出身中学校

中学校名	男子	女子	計	
市内	紋別	124	89	213
	湖見	87	70	157
	渚滑	13	10	23
	上渚滑	8	5	13
市外	興部	15	7	22
	沙留	11	7	18
	雄武	5	3	8
	滝上	17	7	24
	その他	3	2	5
計	283	200	483	

3 通学方法・所要時間

	通学方法				通学所要時間			
	徒歩のみ	自転車	バス	その他	0~30分	30分~60分	60分~90分	90分以上
1年	37	21	41	58	115	32	8	3
2年	31	27	45	53	109	27	9	0
3年	47	36	35	71	134	36	6	4
合計	115	84	121	182	358	95	23	7

4 進路希望

		進学						就職	その他	自営業	計
		大学(国・公)	大学(私)	短大	看護	専門学校	その他				
1年	商業	0	0	0	0	18	0	11	0	0	29
	工業	0	0	0	0	14	1	16	1	0	32
	普通	63	0	0	1	25	8	0	0	0	97
2年	商業	0	0	1	1	9	1	12	2	0	26
	工業	0	1	0	0	10	0	19	1	0	31
	普通	35	7	3	6	27	7	3	0	0	88
3年	商業	0	1	0	0	7	0	22	0	0	30
	工業	0	1	0	0	10	0	21	0	0	32
	普通	42	25	3	10	31	0	7	0	0	118
計		140	35	7	18	151	17	111	4	0	483

5 部・外局活動

外局		文化系部活動		体育系部活動			
名称	部員数	名称	部員数	名称	部員数	名称	部員数
放送	8	吹奏楽	44	野球	24	ソフトテニス	37
図書	12	写真	20	陸上競技	21	バドミントン	22
インターアクト	32	演劇	8	男子バスケット	24	サッカー	31
情報処理	4	ロボット研究	10	女子バスケット	13	ハンドボール	44
		茶華道	7	男子バレー	26	柔道	4
		自然科学	7	女子バレー	8	剣道	4
				卓球	14		
小計	56	小計	96	小計			272
				合計	424名	部活動等加入率	87.7%

平成28年5月1日現在